　　　　　　年 月 日

過年度生は、理学専攻を削除し、素粒子宇宙物理学専攻、物質理学専攻のいずれかを記入

書類提出日を記入

理学研究科長 殿

専攻名 理学専攻

申請月を記入

主任氏名 野口　巧

博士学位論文の受理について（依頼）

下記の博士学位論文の受理について、１月開催の研究科委員会においてご審

議方よろしくお願いいたします。

記

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 論文提出者 | | 名大　太朗 | | 種別 | 課程又は論文 | |
| 主論文題目 | | 外国語の場合は  （和訳を併記する）  ※併記する場合には和文は括弧で閉じること | | | | |
| 学位審査  委員会 | | （主査）名大花子　教授 | （委員）名大太郎　教授 | | 報  告  月 | △　月 |
| （委員）千種明　准教授  ○○研究科 | （委員）  職名と理学研究科以外の場合，所属を明記してください。  ※A01別表参照。 | |
| （外部委員）物理太朗　教授　○○○○研究所 |  | |
| 学力審査  委員会 | | （主査） | （委員）  論文博士の時のみ記入 | |
| （委員） | （委員） | |
| 略 歴 | | | | | | |
| 年月日 | | 事 項 | | | | |
|  | | A03（履歴書）（5-2）記載内容と同じ | | | | |
|  | | ※職歴，研究歴もあれば，記入 | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
|  | |  | | | | |
| 主論文の概要 | | | | | | |
| *\*\*\*\*\*\*\* 青字の部分は最終的に消去してください \*\*\*\*\*\*\*\**  *このページは主査が責任を持って書いてください。*  *下記の形式を守ってください。*  *主論文の内容に関する価値判断は含めず、客観的な記述を述べるものとする。そのために、主観的な表現は避ける。また、用語は理学者一般に理解できるものを用い、英語や専門用語は可能な限り避けて、平易な表現を用いる。*  *（避けるべき表現の例）*  *・「初めて（何かを）行なった」　初めてかどうかは、当時者の主観と価値判断に依存するので、単に「（何かを）行なった」と記述する。*  *・「（何かの遂行に）成功した」　成功か失敗かは、当時者の主観と価値判断に依存するので、単に「（何かを）遂行した」と記述する。*  *最初の段落（3行程度）で、理学の視点から主論文の背景を説明する。*  *次の段落（4行程度）で、物理学の視点から主論文の背景をさらに詳しく説明し、主論文の研究目的等を解説する。*  *次の２、３段落（１段落5-10行程度）で、研究内容と結果を具体的に説明する。*  *最終段落（4行程度）で、主要な結論を要約する。全体の字数は、1200字程度を目安とする。* | | | | | | |